



a0000101a

## 勤労者の財産形成に関する調査〈従業員調査票〉

### 〈アンケート調査へのご協力のお願ひ〉

この調査は、厚生労働省雇用環境・均等局からの研究要請を受けて、独立行政法人 労働政策研究・研修機構が、実施するものです。本調査は、勤労者の財産形成の実態を把握することで、今後の勤労者の福利厚生にかかわる政策の立案・推進等に役立てるためのものです。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力のほど何卒宜しくお願ひ申し上げます次第です。

調査票は、民間信用調査機関が所有するデータベースから、無作為に抽出した企業を通じて、同社で働く皆さまに配布させていただき、回答へのご協力をお願いしています。

ご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理され、研究目的のみに利用します。個々の回答がそのまま公表されることはなく、個人のお名前や企業名が特定されることは一切ございません。また、回答内容がお勤め先に知られることもありませんので、ありのままをご記入ください。

### 【調査票のご記入にあたって】

1. 特に断りのない場合、2019年4月末日現在の状況をご記入ください。
2. ご回答は、あてはまる番号に○印をつけていただくものと、枠内や( )にご記入いただくものがあります。  
なお、各問において特別に回答方法をお願いしている場合は、それに沿ってお答えください。
3. ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れ、2019年5月31日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。
4. この調査票の配布・回収等の実査事務は、調査機関である株式会社タイム・エージェントに委託しています。  
ご不明な点は専用フリーダイヤルまでお問合せください。FAX や電子メールでも受け付けています。

#### お問合せ窓口

株式会社タイム・エージェント 調査本部 担当：

TEL：〈専用フリーダイヤル無料〉

(お問合せ時間：平日10：00～12：00、13：30～17：00)

FAX： E-mail：



#### [調査主体]

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 調査部 担当：

TEL： FAX：

※労働政策研究・研修機構は厚生労働省所管の独立行政法人で、労働政策に資する調査研究活動、労働についての情報収集・提供などの活動を行っています。(ホームページURL <https://www.jil.go.jp>)





## お勤め先の資産形成制度についてお伺いします。

## 問 1.

- (1) お勤め先の資産形成制度で、ご利用したことがある制度をお選びください  
(あてはまるものすべてに○)。
- (2) お勤め先において、今後充実してほしい、現在は利用できないが利用できるようにしてほしいと考える制度をお選びください(あてはまるものすべてに○)。

	(1) 利用したことがある制度	(2) 充実してほしい、 利用できるように してほしい制度
ア. 財産形成貯蓄制度(注) (一般財形、年金財形、住宅財形)	1	1
イ. 社内預金制度	2	2
ウ. 従業員持株制度	3	3
エ. スtockオプション制度	4	4
オ. 確定給付年金(DB)	5	5
カ. 企業型確定拠出年金(企業型DC)	6	6
キ. 職場積立NISA	7	7
ク. 職場iDeCo	8	8

6 ページの問 3 へ

(注) 財産形成貯蓄制度(財形貯蓄制度)には、一般財形貯蓄制度(一般財形)、財形年金貯蓄制度(年金財形)、財形住宅貯蓄制度(住宅財形)の3つがあります。いずれも勤労者が金融機関と契約し、給与天引きにより事業主を通じて積み立てる制度です。年金財形と住宅財形では、合わせて元本550万円まで(契約商品が保険等で年金財形のみの場合は385万円まで)利子非課税となる税制上の優遇措置があります。

(1) 利用したことがある制度、において、ア. 財産形成貯蓄制度(一般財形、年金財形、住宅財形)、に○をつけた方は、6 ページの問 3 へお進みください。その他の方は、5 ページの問 2 へお進みください。



## 財形貯蓄制度の利用状況についてお伺いします。

問3. 一般財形の利用状況について詳しくお伺いします。

一般財形を利用していますか。

<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 5px;">1 現在利用している</div>	<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 5px;">2 現在利用していない</div>
<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 5px;">↓</div>	<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 5px;">↓</div>
	<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 5px;">8 ページの問4へ</div>

付問1 勤め先からの補助（奨励金）はありますか。

1 ある	2 ない
------	------

付問2 一般財形の積み立てをはじめたのは、何歳のときですか。

			歳
--	--	--	---

付問3 どのくらいの頻度で一般財形に積み立てを行っていますか。

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 毎月、給与を受け取ったとき</li> <li>2 年に数回、賞与を受け取ったとき</li> <li>3 毎月の給与と年に数回の賞与を受け取ったときの両方</li> <li>4 その他</li> </ol>
---

付問4 毎年、合計でどのくらいの金額を一般財形に積み立えていますか。

約 \_\_\_\_\_ 万円

付問5 一般財形の現在の貯蓄額は、どのくらいですか。

約 \_\_\_\_\_ 万円

付問6 一般財形の積み立てをしている金融商品をお選びください  
(あてはまるものすべてに○)。

- 1 預貯金 (定期預金、定額貯金)
- 2 合同運用信託 (金銭信託、貸付信託) ※
- 3 有価証券 (公社債、公社債投資信託、株式投資信託)
- 4 保険商品 (積立保険、積立傷害保険等)
- 5 わからない

※金銭を信託財産として信託銀行などに預け、その金銭を信託銀行が約款に指定された運用範囲内で合同して運用し、その収益を信託金額に応じて支払われる商品。

問4. 年金財形の利用状況について詳しくお伺いします。

年金財形を利用していますか。

<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 5px;">1 現在利用している</div>	<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 5px;">2 現在利用していない</div>
	<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 5px;">11 ページの問5へ</div>

付問1 勤め先からの補助（奨励金）はありますか。

1 ある	2 ない
------	------

付問2 年金財形の積み立てをはじめたのは、何歳のときですか。

			歳
--	--	--	---

付問3 どのくらいの頻度で年金財形に積み立てを行っていますか。

<p>1 毎月、給与を受け取ったとき</p> <p>2 年に数回、賞与を受け取ったとき</p> <p>3 毎月の給与と年に数回の賞与を受け取ったときの両方</p> <p>4 その他</p>
--

付問4 毎年、合計でどのくらいの金額を年金財形に積み立てていますか。

約 \_\_\_\_\_ 万円

付問5 年金財形の現在の貯蓄額は、どのくらいですか。

※年金財形は（住宅財形と合わせて）元本550万円（契約商品が保険等で年金財形のみの場合には385万円まで）まで利子非課税です。

約 \_\_\_\_\_ 万円



付問6 年金財形の積み立てをしている金融商品をお選びください。

- 1 預貯金（定期預金、定額貯金）
- 2 合同運用信託（金銭信託、貸付信託）※
- 3 有価証券（公社債、公社債投資信託、株式投資信託）
- 4 保険商品（積立保険、積立傷害保険等）
- 5 わからない

※金銭を信託財産として信託銀行などに預け、その金銭を信託銀行が約款に指定された運用範囲内で合同して運用し、その収益を信託金額に応じて支払われる商品。

付問7 年金財形の積み立てが終了する予定の年齢をお答えください。

- ※1 既に積み立てが終了している方は、積み立てが終了した年齢をお答えください。  
 ※2 55歳以上の年齢をご記入ください。  
 ※3 不明の方は まだ決めていない をお選びください。

<table style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr> <td style="border-right: 1px dashed black; width: 50%; height: 100%;"></td> <td style="width: 50%; height: 100%;"></td> </tr> </table>			歳	まだ決めていない
		↓		
		付問8へ		

付問7-1 付問7でお答えいただいた年齢は、お勤め先の定年と同じ年齢ですか。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない
- 4 定年はない

付問8 年金財形の受給開始予定年齢をお答えください。

- ※1 既に受給している方は、受給を開始した年齢をお答えください。  
 ※2 60歳以上の年齢をご記入ください。  
 ※3 不明の方は まだ決めていない をお選びください。

<table style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr> <td style="border-right: 1px dashed black; width: 50%; height: 100%;"></td> <td style="width: 50%; height: 100%;"></td> </tr> </table>			歳	まだ決めていない

付問9 年金財形の受給を開始する時期は、公的老齢年金の受給開始よりも早い時期を考えていますか（既に受給している方は、実際の状況をお答えください）。

- 1 はい
- 2 いいえ（公的年金の受給開始より遅い時期に受給を始める予定）
- 3 いいえ（公的年金の受給開始と同じタイミングで受給を始める予定）
- 4 まだ決めていない

付問10 年金財形の受給開始時期を検討するにあたり、年金財形の加入契約時に、金融機関から、公的年金の受給を開始するまでのつなぎとして利用できるといった説明はありましたか。

- 1 説明があった
- 2 説明はなかった
- 3 わからない

付問11 年金財形では、積立をしなくてもよい「据置期間」を最大5年間設定することができます。据置期間を利用する予定はありますか（既に受給を開始している方は、実際の状況をお答えください）。

- 1 据置期間を利用する予定がある  
（例：55歳まで積立を継続した後、5年間の据置期間を設定し、60歳から受給する）
- 2 現在、据置期間を利用している
- 3 据置期間を利用する予定はない  
（例：60歳まで積立を継続して、60歳から受給する）
- 4 まだ決めていない

付問12 年金財形の支払期間（※）は、何年を予定していますか。  
※保険等は5年以上、その他預貯金等は5年以上20年以内から選択することになっています。

- 1 5年
- 2 5年超～10年未満
- 3 10～15年未満
- 4 15～20年未満
- 5 20年以上
- 6 まだ決めていない

問5. 住宅財形の利用状況について詳しくお伺いします。

住宅財形を利用していますか。

1 現在利用している	2 現在利用していない
------------	-------------

↓

↓

1 3 ページの問6へ

付問1 勤め先からの補助（奨励金）はありますか。

1 ある	2 ない
------	------

付問2 住宅財形の積み立てをはじめたのは、何歳のときですか。

			歳
--	--	--	---

付問3 どのくらいの頻度で住宅財形に積み立てを行っていますか。

1 毎月、給与を受け取ったとき
2 年に数回、賞与を受け取ったとき
3 毎月の給与と年に数回の賞与を受け取ったときの両方
4 その他

付問4 毎年、合計でどのくらいの金額を住宅財形に積み立てていますか。

約 \_\_\_\_\_ 万円

付問5 住宅財形の現在の貯蓄額は、どのくらいですか。

※住宅財形は（年金財形と合わせて）元本550万円まで利子非課税です。

約 \_\_\_\_\_ 万円

付問6 住宅財形の積み立てをしている金融商品をお選びください。

- 1 預貯金（定期預金、定額貯金）
- 2 合同運用信託（金銭信託、貸付信託）※
- 3 有価証券（公社債、公社債投資信託、株式投資信託）
- 4 保険商品（積立保険、積立傷害保険等）
- 5 わからない

※金銭を信託財産として信託銀行などに預け、その金銭を信託銀行が約款に指定された運用範囲内で合同して運用し、その収益を信託金額に応じて支払われる商品。



## 全ての方にお伺いします。

問7. 税制上の優遇がある以下の制度の中で、ご利用している制度をお選びください  
(あてはまるものすべてに○)。

- 1 NISA
- 2 つみたてNISA
- 3 ジュニアNISA (本人または運用管理者)
- 4 iDeCo (個人型確定拠出年金)
- 5 個人年金保険
- 6 ない

問8. 財形貯蓄制度(一般財形、年金財形、住宅財形)について、何かご要望はございますか。  
ご要望として該当するものをお選びください(あてはまるものすべてに○)。

- 1 預入機関を自由に変更できるようにしてほしい
- 2 転職先に財形貯蓄制度がない場合や退職した場合でも、財形貯蓄制度への加入を継続できるようにしてほしい
- 3 (年金財形・住宅財形について) 55歳以上でも加入できるようにしてほしい
- 4 積立要件(一般財形は3年以上、年金財形・住宅財形は5年以上の積立が必要)を緩和してほしい
- 5 退職時一時金を預入できるようにしてほしい
- 6 年金財形の受給期間の上限を延長してほしい  
(現行では商品が預貯金等の場合5~20年の間で受給期間を設定)
- 7 利子非課税枠を拡大してほしい(現行で年金財形・住宅財形をあわせて550万円まで)
- 8 住宅財形の払出要件を緩和してほしい
- 9 財形貯蓄制度の手続きを簡単にしてほしい
- 10 その他( )

問9. 財形貯蓄制度(一般財形、年金財形、住宅財形)の長期的な方向性について、ご意見をお伺いします。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。

- 1 財形貯蓄制度を今後も現状どおり実施してほしい
- 2 財形貯蓄制度の一層の充実を図ってほしい  
(充実してほしい具体的内容: )
- 3 財形貯蓄制度は必要ない
- 4 その他( )

問10. 財形貯蓄制度（一般財形、年金財形、住宅財形）に関して、ご意見がございましたら  
ご自由にご記入ください。

## お勤め先の退職金制度について、全ての方にお伺いします。

問 1 1. 現在のお勤め先を退職するとき、あなたは退職金を受け取ることができますか。

- 1 受け取ることができる
- 2 (再雇用等のため) 既に受け取っている
- 3 勤務先に退職金制度はあるが、自分は受け取ることができない
- 4 勤務先に退職金制度がない
- 5 わからない

アンケートはこれで終了です

付問 1 退職金はどのように支給されますか。あてはまるものをお選びください  
(既に退職金を受け取っている方は、実際の状況をお答えください)。

- 1 一括
- 2 分割 ( ) 年
- 3 その他 ( )

付問 2 あなたのお勤め先では、過去 5 年間に、定年制における定年年齢の引き上げまたは定年制の廃止を行いましたか。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

付問 3 あなたのお勤め先では、定年がある場合は定年前に、定年がない場合は退職前に、退職金を受け取ることができますか。

(例① : 定年は60歳から65歳に延長されたが、退職金は60歳に達した年に受け取ることができる)

(例② : 定年は60歳だったが廃止された。退職金は60歳に達した年に受け取ることができる)

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

アンケートはこれで終了です

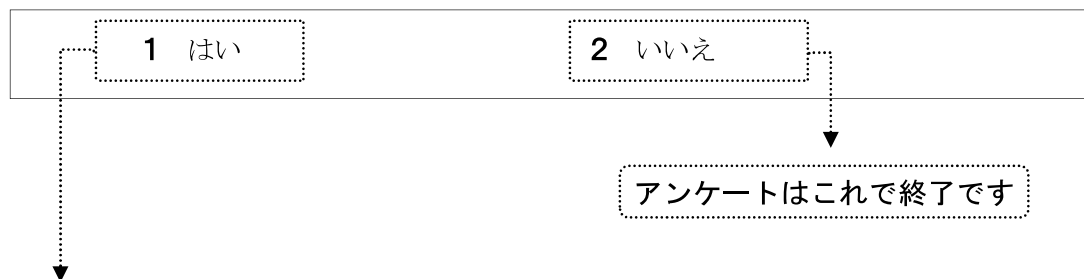
17ページの付問3-1へ



付問3-1 具体的には、どのように退職金を受け取ることができますか。あてはまるものをお選びください。

- 1 定年は延長されたが、退職金は延長前の定年年齢に達した年以降に受け取ることができる
- 2 定年は廃止されたが、退職金は廃止以前の定年年齢に達した年以降に受け取ることができる
- 3 その他 ( )

付問3-2 あなたは、定年がある場合は定年前に、定年がない場合は退職前に、退職金を受け取ることが希望しますか。



付問3-2-1 希望する理由をお選びください（あてはまるものすべてに○）。

- 1 老後の資産形成のため
- 2 生活資金を補うため
- 3 住宅ローン等の各種返済をするため
- 4 その他 ( )

お忙しい中ご協力いただきまして誠にありがとうございました。  
恐れ入りますが、5月31日（金）までに返信用封筒（切手不要）にてご投函ください。